

飛躍

HIYAKU

第295号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2011年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS あけましておめでとうございます 2011年が希望に満ちた年でありますように



世界柔道選手権2010東京大会 -100kg級出場 (1年9組 八幡憲治くん)



マーチング関東大会 ダンス部・吹奏楽部初コラボレーションで金賞



日本管楽合奏コンテスト最優秀賞(第2位)受賞

新年を迎えて ~更なる改革を目指して~



校長 片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。新しい年の始まりです。

昨年のサッカー部とレスリングの澤 祐基君のインターハイ(近畿まほろば総体)出場に引き続き、この1年もたくさんの部活動がいろいろな記録を創りだしてくれました。その中でも吹奏楽部の全日本吹奏楽コンクール・全国大会での金賞獲得は、高輪

台に大きな感動を与えてくれました。2度のテレビ放映も学校内外の多くの人に見ていただきました。(ただし、最初の

テレビ放映は剛健旅行の当日だったため、見られない人も多かったのではないのでしょうか。)また、弓道部3年の榎村真理さんのインターハイ(美ら島沖縄総体)出場や、創立4年目に早くも全国中学校体育大会(第37回全日本中学校陸上競技選手権大会)に出場した中等部陸上競技部3年の村山航大君の活躍は、部活動推薦をやっていない本校の生徒でも、「3年間コツコツと頑張れば、誰にでも全国大会に出場できるチャンスがある」という勇気をくれました。(もちろん、その努力は並はずれたものではありませんが…)弓道部の榎村さんは中学時代には茶道部員で、弓に触ったのは本校に入学してからですし、陸上競技部の村山君は、

中学1年生のときは120cm(自分の腰の高さ)しか跳べなかったのに、全中に出場する3年の夏には185cm、自分の身長を超える高さを跳べるようになったそうです。2人とも本当に凄い努力を重ねてきたのでしょう。今年はどうな部活動で、誰が、みんなを驚かせ、感動させてくれるか本当に楽しみです。

今年度も3年生の88.2%が東海大学への進学を決定しました。東海大学への付属推薦入試のシステムがここ数年大きく変化してきています。その流れは、入試方法の多様化と早期化です。私たち教員はこの変化の中で、一人ひとりが本当に適した進路を決定できるように丁寧な指導を続けてきました。また、進路決定が早まる中で、大学の学部学科決定を「ゴール」とせず、将来の学習の方向性が決まったことで、その準備を始められる「スタート」と捉えて、第3学年の

後期を有意義に過ごせるよう努力を重ねて参りました。ただし、このキャリア教育のシステムもまだまだ十分に機能しているとは言えず、続く2年生、1年生の進路指導では、今年度以上の指導体制を取り、本校の卒業生が大学や社会で更に活躍できるよう指導したいと思います。

これら本校の諸活動が高い評価を受け、「Step and Go!」をテーマにした第46回建学祭では昨年度を上回る5,857名の来校者を迎え、開催され、大成功を収めました。昨年度のインフルエンザの心配や、台風のための準備日の短縮などから比べると、雨は降ったものの、スムーズに運営された建学祭でした。

2011年の幕開け。部活動の新たな活躍、キャリア教育の充実、授業スキルの向上、新カリキュラムの開発等々さらなる飛躍を目指して、今年も全力で頑張ります。

生徒会新役員決まる

11月11日、生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。中等部・高校ともに、会長、副会長、会計、書記すべてが信任投票でした。新役員の皆さんは先輩たちが築いてきた伝統を大切にしながら、高輪台高校・中等部がさらに発展していけるよう力を注いでくれると期待しています。また、生徒の皆さんも新役員のもと、より良い学校生活を送れるよう協力していきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 A組 阿部 泰己

副会長 2年 B組 河村 優希

副会長 1年 A組 野上 舞

会計 2年 A組 吉越 隼

書記 1年 B組 滝沢 夏菜

高校生徒会新役員

会長 2年 9組 山脇 怜王

副会長 1年 4組 木内 一希

会計 2年 2組 會田 旭

会計 1年10組 長瀬慶太郎

書記 1年 1組 村上 来地

書記 1年10組 石黒 萌里



後列左から、吉越君、滝沢さん
前列左から、野上さん、阿部君、河村さん



後列左から、村上君、石黒さん、長瀬君
前列左から、木内君、山脇君、會田さん



高校生徒会会長

山脇 侑王

2年9組 大田区立大森第七中学校出身

生徒会選挙では信任していただきありがとうございました。投票して下さった皆さんの1票に込められた、大きな期待にこたえられるよう努力していきたいと思ひます。

私は前生徒会で副会長を務め、貴重な経験をさせていただきました。部活動に励む生徒、委員会に努める生徒、学校行事を支える生徒、そして生徒を応援する先生方や保護者の方々。いろいろな人たちと意見を交換していく中で、

本校のさまざまな面を知ることができました。この経験を、これからの生徒会活動に生かしていきたいです。

生徒会の運営にあたっては、立会演説で述べた「エコキャップ活動の推進」や「募金活動」の他に、体育祭や建学祭といった「学校行事の活性化」や、本校の多くの生徒が勤しんでいる「部活動・同好会の支援」、私たちが日々生活している高輪台の「地域ボランティアへの参加」など、多岐にわたる活動にも尽力し、皆さんの誇れる生徒会を組織していきます。

最後に、私たち生徒会役員が活動していくためには生徒の皆さんや先生方、保護者の方々の協力が必要不可欠です。本校をより良くしていくために一生懸命活動していきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



中等部生徒会会長

阿部 泰己

2年A組 大田区立入新井第二小学校出身

この度、中等部生徒会会長になりました2年A組阿部泰己です。

僕の生徒会会長としての目標は、行事の見直しと改革をすることです。生徒の皆さんと協力して、行事すべてをやりがいのある、より充実したものにしていきたいと思ひ

ています。例えば、体育祭で生徒たちオリジナルの競技を加えてみたり、スポーツ大会ではただ単にスポーツをするのではなく得点制にしてみたりと、より一層みんなが楽しめるものを先生方と役員とで提案していきたいと思ひます。この中等部はできてからまだ数年しか経っていないので、まだまだ見直せるところやより良くできるところがあると思ひます。他の生徒会役員4人と一緒に、精いっぱい頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

生徒会旧役員のひとこと

中等部生徒会旧役員

会長 3年B組 渡邊 陵太

1年間、生徒の皆さんが楽しく学校生活を送れるよう頑張ってきました。また新しいことに挑戦もしました。今期の生徒会はお役に立てたでしょうか。最後に、1年間皆さんのおかげで活動できました。ありがとうございました。

副会長 3年A組 西森 奏弥

1年間生徒会役員をやった感想は、楽しかったということです。人のために何かをするという大切さを実感することができました。仕事がたくさんあって、大変なこともありましたが、1年間頑張ることができてよかったです。

副会長 2年A組 伊藤 真穂

私は1年間生徒会副会長として活動してきました。アンケートをもとに中等部体育祭に新しい種目を加えたり、生徒会新聞を作ったりとさまざまなことをしてきました。大変だったこともあったけど、自分たちが考えたことを実施できた時は、とてもうれしかったです。生徒会で学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思ひます。1年間、ありがとうございました。

会計 3年A組 徳下 善大

僕は1年間生徒会会計として活動してきました。今年1年、いろいろな面で学校をより良くすることができたのではないかなと思ひます。大きく変えることはできませんでしたが、体育祭の種目の変更などができました。1年間、ご協力ありがとうございました。

高校生徒会旧役員

会長 3年1組 小林 一貴

今年度の生徒会は7人中私を含め5人が新役員という中でスタートしました。そのため、初めは先輩方の仕事を引き継ぐことしかできませんでした。しかし、日を追うごとに仕事にも慣れ、7人全員で新しいことにチャレンジすることができました。協力し合いみんなが学校のために働く大切さを学ぶことができてよかったです。1年間ありがとうございました。

副会長 3年9組 剣持 瑛行

この1年、生徒会はさまざまな活動をさせていただきました。特に口蹄疫被害への募金活動は印象的で、迅速に動くことができ、予想以上の成果となりました。私にとって生徒会活動はこれからの人生に生かすことのできる貴重な経験であり、かけがえのない思い出です。

書記 3年9組 岩男 拓実

私が生徒会役員を経験してきた中で、学んだことが1つあります。それは協調性を持つことの必要性です。生徒会の中で意見の食い違いをまとめることから学びました。この経験を卒業後、大学や職場で生かしていきたいです。

会計 3年2組 西川 佑依

私は今までに生徒会活動の経験がなく、高校3年生にして、初めての体験でした。生徒会には、制服を着ている今しか体験することができないものです。そんな経験を経ることができたことは、私の財産になると思ひます。1年間ありがとうございました。



生徒会旧役員の皆さん、おつかれ様でした。

中等部1学年だより

☆ 校外行事 ～落語～ ☆

12月3日(金)中等部1年生は校外行事として落語を聞きに行きました。当日、朝からの大雨により、電車が遅延しましたが、無事開演時間に間に合いました。朝から大変な思いをして来た甲斐があったと、皆落語や講談、コントなどを楽しんでいました。

落ち

谷口 文崇

1年A組 北区立なでしこ小学校出身

当日、ひどい雨が降っていて、現地に行くのがとても大変でした。僕はこれまでテレビで「笑点」を見たことがあるくらいで落語について何もわかりませんでした。しかも「笑点」を見ていても面白さがよくわからないでいました。なので、正直今回の校外行事はあまり楽しみではありませんでした。

今回、落語に行く前に国語の授業で落語のことを学びました。噺家さんは「枕」と呼ばれる短い噺をした後、羽織を脱ぎ始めます。それがメインの噺に入るというサインです。そして当日、そのタイミングに気付くことができ、面白かったです。

当日はいくつかの噺家さんやコントを見ましたが、最も印象に残っているのは、一番最初の噺です。どんな噺なのかと思って聞いていたら、最終的には「おなら」の噺でとても驚いたし、面白い「落ち」だと思いました。つまらないのだろうと思いついていたけれど、事前に勉強をして行き、実際に観に行ってみると、面白いものだと思います。

落語の楽しさ

松村 拓

1年B組 私立清泉小学校出身

今回、お江戸両国亭に行きました。落語家は2人出てきましたが、どの噺も落語特有の落ちの部分が一番笑えて面白かったです。しかし、不思議に思ったのは、最初に話した三遊亭鳳笑さんが次の出番の人の座布団や机を運ぶなどの準備をしていたことです。準備専門の係委員みたいな人がいるのだと思っていました。

講談は、はっきり言って話している内容がよくわかりませんでした。しかし、講談を話す人は日本全国で60人程度で、講談を聞けることはとても珍しいことだそうです。今回の内容では竹千代(三代将軍徳川家光の幼少)と家来が強い信頼関係で結ばれているという噺でした。

江戸の人々は今でいう「お笑い」ともいえる「落語」を見聞きして笑っていたのだろうかと思いました。そして、落語の面白さが理解できる江戸の人々はとても機転が利いて頭が良かったのだと思いました。

☆ 2010年「今年の漢字」に応募しました ☆

毎年、日本漢字能力検定協会が行っている「今年の漢字」に中等部1年生みんなまで応募しました。応募にあたり、2010年はどんなことがあったか友達と話し合いながら悩み考え、「これだ!」というものを応募しました。同じような理由でも人それぞれ選ぶ一字が違うのは面白いものです。

私は「争」という字を応募しました。2010年は、いろいろな国で紛争や戦争が起きていたり、政治がねじれていたりしたので、この字を選びました。「争」という字が12位に選ばれたと聞いた時、「自分と同じ考えをした人がたくさんいたんだ」と思い、驚きました。1年間いろいろな事があり、どの漢字にするか迷ったけれど、12位にランクインできて、とてもうれしかったです。(1B 曾根なつみ)

《1位ではなかったけれど、上位にランクインした漢字に応募しました!》

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 5位 「異」(1A 中崎 陽二) | 16位 「問」(1A 小原可奈絵) |
| 6位 「国」(1A 佐々木捷吾) | (1B 田中 理祥) |
| 7位 「高」(1A 天野恵理子) | (1B 河村 遼佳) |
| 9位 「熱」(1A 谷口 文崇) | 17位 「政」(1A 切替 良貴) |
| 12位 「争」(1B 曾根なつみ) | (1A 西田 隼) |
| 15位 「領」(1A 橋本 啓吾) | (1B 赤須 東晃) |
| | (1B 兒玉 千波) |



中等部2学年だより

頑張れ新チーム特集(文化部編)

前月号に引き続き、新しい体制でスタートした部活動の紹介をします。運動部とは違った形で頑張っている文化部のみなさんに、今後の意気込みや現在の活動状況を語っていただきました。

演劇部

部員数 1年生 1名 2年生 3名 計4名
部長 2年B組 村山 恭平

先輩、後輩の分け隔てなく仲良く活動しています。活動内容は、発声練習、筋トレ、即興劇などを行っています。活動日は、月・水・金ですが、公演前は毎日になります。活動していると演劇の面白さがわかります。中等部だけの芝居を作ること为目标に頑張っています。



吹奏楽部

部員数 1年生 6名 2年生 8名 計14名
部長 2年B組 千葉 琴美

活動はほぼ毎日あり、休みは月に1、2回と大変な部活動ですが、とても充実しています。特に気を付けていることは、「挨拶」・「笑顔」・「お客様に楽しんでもらえる演奏をする」・「技術の向上」です。現在第2回定期演奏会の成功を目指して毎日頑張っています。



美術部

部員数 1年生 6名 2年生 4名 計10名
部長 2年B組 小川 沙羅

目標として「外部コンクールへの出品」・「個人・学年での作品制作」・「部活動と勉強の両立」を掲げて活動しています。夏休みや冬休みには、美術館に見学に出かけたりもします。活動日は、水・土・日以外の週4日間です。顧問の先生が熱心に指導してくださり、建学祭や学園オリンピックに向けて頑張っています。



物理化学部

部員数 1年生 13名 2年生 15名 計28名
部長 2年B組 前原 純平

わが部は、3つの班に分かれて活動しています。生物班は生物の飼育・観察、化学班は結晶などの作成、物理班はロボットの組み立て・改造を行っています。活動日は、毎週火曜日～金曜日で、各自自分のやりたいことについて時間を使って研究できるところが良いところです。いろいろな大会やイベントで賞をとれるよう頑張っています。



中等部3学年だより

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。早いものであと3か月で中等部を卒業し、高輪台高等学校へ進学します。進学にあたって、1月22日には推薦入試を受けます。推薦入試では面接試験、小論文試験が行われますが、推薦入試に向けて、これまでの自分を振り返り、高校生活でどんなことに挑戦したいのか、聞いてみました。

Q1. 中等部ではどんなことを頑張りましたか？

- 物理化学部で、ロボット作りを頑張りました。物理化学部で初めてロボット班を1年生の時に1人で作り、その後後輩も10人に増えていろいろと教えながら一緒に頑張っています。(3A 菊池 弘)
- 吹奏楽部の活動を頑張りました。最後のコンクールで初めて金賞をいただいたことが一番の思い出です。(3B 飯田 亜海)

Q2. 中等部から見て、高校生はどう見えましたか？

- 部活動などで、優しくお世話してくれたり、いろんなことを教えてくれます。私もそう思われるようになりたいです。(3A 甲田 麻依)
- 中学生とは違い、朝礼の時にとても落ち着いて話を聞いている姿が印象的でした。はじめがしっかりついているところが良いと思います。(3B 藤澤 英子)

Q3. 高校に進学したら、やってみたいことはありますか？

- 外部から入学してくる人たちと仲良くなりたいです。なるべく話しかけてお互いの共通点を見つけたいです。(3A 劔持 路一)
- SSHに興味があります。先輩方の発表や実験を見て興味を持ったからです。英語も上手になりたいです。(3B 有田 達也)

スポーツ大会・校外行事

中間試験終了後12月2日(木)に中等部最後のスポーツ大会、3日(金)に校外活動で文楽鑑賞(演出:伊達娘恋緋鹿子、三十三間堂棟由来)に行きました。文楽は初めて見に行く人が多く、あらかじめ演目について予習をしてから鑑賞に臨みました。それぞれが様々な点に注目して鑑賞していました。



初めての文楽

高野 啓太

3年A組 私立星美学園小学校出身

今回見に行った文楽というものは、いつもの生活と全く関係のないものだったので、最初は面倒だと思っていましたが、実際に行ってみると少しずつ興味がわいてきました。僕が感動したのは、人形を本当の人間のようによく扱っていたことです。まるで人形が生きているかのようにとてもきれいでびっくりしました。さらに、解説してくれた人たちの話が面白くて、とても楽しかったです。これが日本に古くから伝わる文化だと知り、とても興味を持ったと同時に、感動しました。何を言っているのかわからない部分もありましたが、イヤホンガイドがあってとてもわかりやすくなっていました。最新の技術と昔の文化が一緒になっていて、とてもよかったと思います。

今後、このようなものを観に行く機会があれば楽しみにしたいと思います。

文楽を見て

下平 真里那

3年B組 世田谷区立瀬田小学校出身

私は、今回初めて人形を操る文楽を見ました。行く前は、あまり文楽などに興味もなく、何をするのか全然わからなかったのですが、初めて知ったことがたくさんあって面白かったです。最初に学校で説明があり、だいたいのストーリーはわかっていたのですが、想像していたのとは全然違いました。人形の動きも、思ったよりすごく正確で、人形とは思えないほど人間に近かったです。人形の中の仕組みまで丁寧に説明してくれたので見ていて楽しかったです。人形を動かす3人の人たちはなにもしゃべらないで、合図だけで手などを動かしているのも初めて知ったし、すごいと思いました。これができるようになるまで何年も練習しているので伝統だなと思いました。三味線をひく人と大夫と人形を動かす3人の息が合わないとうまいかないので、人形浄瑠璃はすごいと思いました。

高校1学年だより

新年あけましておめでとうございます。2010年とはどのような年でしたか？先生方の新年の抱負を聞きました。皆さんも新たな目標を立て、2011年も充実した年にしてください。

着実・正確そして大胆に！…学習活動も部活動もすべてのことにキチンと真摯に取り組んで良い結果を残したい。そのために、日々の努力を惜みず前に向き考え、そして冒険もしてみたいな。

(学年主任 江口 淳二)

「何がどこにあるかわかっているから」という大義名分のもと整理整頓を怠ってきました。今年は職員室の机も自宅もきれいに使っていきたいと思います。また、英語以外の言葉もそろそろ勉強を開始しようかな。

(1組学級担任 小松原 洋行)

2010年「規則正しく生活しよう」と決意したものの気がつけば不健康な生活まっしぐらでした。2011年こそは、早寝早起きで朝型人間を目指したいと思います。

(2組学級担任 弘中 裕美子)

・教養を高めるための努力をします！ ・職員室の机、自分の家をきれいに使います！ ・時間を大切にします！(学校での時間もプライベートの時間も) ・適度な運動、食事、睡眠で健康維持に努めます！

(3組学級担任 稲葉 哲之介)

今年度の目標は「女子力の向上」です。具体的には料理のレパートリーを増やす。ヘラヘラしない。イライラしない。節約をしておしゃれにかけける時間とお金を増やす。そして、みんなに憧れられる素敵な女子を目指します！

(4組学級担任 羽部 真美香)

先日、野球部の練習中に生徒と一緒に走りましたが、想像以上に走れず、体力の低下を実感しました。お酒でお腹が出る前に、生徒とともに体力を作り、もう一度健康な体に戻れるように頑張ります。

(5組学級担任 渡邊 聡)

2011年は、「自己啓発」の年にしたいです。英語能力向上のために海外に足を運んでみたり、健康な体であるために水泳を始めたりと、新しいことを始め、自分のいる世界を広げて毎日を充実させたいです。

(6組学級担任 中野 優子)

今年は健康に気をつけたいと思います。1日3食。お酒は適量。睡眠時間は7時間。保健の授業で生徒に伝えている「生活習慣の大切さ」を私自身がもう一度認識して、しっかり見直したいと思います。

(7組学級担任 吉川 博人)

1. 無遅刻無欠勤 2. 8時前出勤 3. 本100冊読破
4. 字をきれいに書く 5. 富士山登頂

(8組学級担任 住廣 郁子)

・9組全員で2年生に進級する。 ・スポーツ大会inアリーナで優勝する(綱引きだけは譲れません)。
・2011年、悲しい出来事が少ないとよいですね。

(9組学級担任 今井 貴志)

・整理整頓(机の上、教室、家の中…)。 ・2010年は毎日楽しく過ごしていましたが、2011年も引き続き毎日を楽しむ。 ・今年も10組24名が仲良く学校生活を送れるようにサポートする。

(10組学級担任 上松 未来)

2011年がどのような年になるのか誰にも予測がつかません。自分としては健康に多少なりとも留意し、1日1日をマイペースで歩んでいければと思います。

(学年所属 若井 牧夫)

1. 取得「見込み」の免許状を取得する。 2. 授業中の口癖を直す。 3. 移動は徒歩を心がける。 4. 車の制限速度を遵守する。 5. 塩辛いものばかり食べない。 6. できるかぎり子供と風呂に入る。 7. 妻の誕生日を決して忘れない。 8. 年に1回は絶対に家族で旅行に行く。 9. 年に1回は甲子園に行く。

(学年所属 宮嶋 考一)

昨年4月から中等部の男子バスケットボールの監督になりました。昨年は港区の大会では勝つことができなかったため、今年の6月まで(今の2年生が引退するまで)には1試合でも勝てるチームにしたいと思います。

(学年所属 皆川 勇太)

高校2学年だより

あけましておめでとうございます。

2011年を迎えました。皆さんは新しい年をどのように過ごそうと考えていますか？今回は、高校2年団の先生方の新年の目標と皆さんへのメッセージを紹介いたします。

今年も、勉強に部活動に全力投球！最終学年として悔いのない1年間を過ごして、有終の美を飾ろう。期待しています。
(学年主任 高橋 光太)

「1年の計は元旦にあり」という言葉を耳にしますが、「何事も初めが肝心!」。目標達成に向け、日々の生活を大切にしてください。
(1組学級担任 細田 功)

今年の目標は新たな自分を見出すことと、笑顔で過ごせるように努力をすることです。皆さんは高校生活の集大成であるこの1年となります。日々全力で過ごしましょう。
(2組学級担任 山崎 一沙)

今年もいろんな生徒たちとの時間を一緒に過ごし、存分に楽しんでいこうと思うので、今年もよろしくお祈りします。
(3組学級担任 大塚 一磨)

未来のことは誰にもわかりませんが、想像はできるはず。将来の自分を具体的に想像し、それに向けて一歩ずつ進みましょう。
(4組学級担任 橋 健治)

今年は滝をたくさん見に行きたいです。なかなか時間が取れなくて難しいのですが、ぜひともチャレンジしたいですね。読書200冊も続けます！
(5組学級担任 数馬 大介)

昨年よりも笑顔の多い1年にしたいと思います。高校生活も折り返しました、後悔のないように皆さんと一緒に楽しい毎日を送ります。よろしくお祈りします。あと運動もします。
(6組学級担任 川島 純一)

今年は進路決定の重要な年です。慌ただしく月日がたち、すぐに年末を迎える気がします。光陰矢の如し。1日1日を大切に過ごしていきたいものです。
(7組学級担任 山田 武範)

昨日の自分に謝ったりせず(=後悔ばかりせず)、2011年も突き進みましょう。そして“明日の自分に感謝されよう”(=自分が納得できるようにしよう)。
(8組学級担任 南館 由里香)

1日1日を大切に、より充実した1年にしたいです。高校生活もあと1年ちょっと。勉強面、進路面、そして部活動などで悔いの残らない1年にしましょう。
(9組学級担任 田村 英典)

新しい年を迎えるにあたって、違う自分を見つけたい、もっと前に進みたいと願っている人には、その願いの原点に立ち返ることが大切だと思うのです。私は何がしたいのかと。卒業まであと1年。ためらっている時間はない。
(学年所属 石井 達人)

2年生にとっては「覚悟」を決める1年です。健康第一で、よく聞き、よく見、よく考えて自分の将来に向き合ってください。
(学年所属 金子 真奈美)

教員20年目、自分自身にとって「節目の年」となります。2年生の諸君にとっても、進路を決定する「大切な年」です。この1年、全力で頑張りましょう。
(学年所属 野崎 和夫)

2011年、高校生活最後の年です。文武両道、学習に部活動にそして遊びに、熱と闘志をもって最善の努力をしましょう。
(学年所属 渡部 晃)

高校3学年だより

高校3学年の高校生活も残り少なくなりました。今回は各クラスの級長から、クラスを振り返っての一言をお届けします。

1組

2年間このクラスで過ごして私が一番強く感じたことは、クラスの一人ひとりがそれぞれ違った特徴をもっていて、その個性がとても強い集団であったということです。

行事での思い出は、校内のスポーツ大会でした。「絆」というテーマをもって臨んだ大会で、皆が団結して戦い、目標としていた結果を出して終えることができました。我がクラスの最高の思い出です。

私はこのクラスだったことを誇りに思っています。(岩瀬 壮太郎)

2組

文理混合クラスということもあり、とても個性的なクラスです。自分は級長という、みんなをまとめる立場でしたが、2組のみんな一人ひとりがクラスを良くしようと率先して前に立ってやってくれるので、自分はとても安心でした。私たちの2組は毎日明るく、担任のメグ先生もとても面白くて毎日2組の教室に入るのがいつも楽しくて仕方がありませんでした。そんな2組で過ごしてきた一日一日が自分にとってかけがえのない思い出です。(小池 幸平)

3組

最初、僕は級長になったとき不安な気持ちでいっぱいでしたが、今ではやってよかったと思います。みんな言うことをしっかり聞いてくれてやりやすかったです。

3組での一番の思い出は建学祭です。看板などの準備のときはとても大変でした。けれど、たい焼きを上手く作ることができたときは喜びでいっぱいでした。当日も、小さい子から高齢者の方など多くの人々に食べてもらえて、大成功でした。

(伊城 龍之介)

4組

仲良くなるのに時間がかかったこのクラスですが、行事を重ねるごとに、思い出を増やすと共にクラスの絆も深まっていきました。その集大成である建学祭では、準備期間から当日を通して全員で協力して最後までやり切ることができました。特に知的財産グランプリを意識してやったわけではなかったけど、ただ純粋に最後の建学祭を全員で楽しんだ結果、準グランプリをいただいたのだと思います。残りの時間もみんなで楽しみたいです!(遠藤 集徳)

5組

3年5組というクラスは、スポーツ大会や、体育祭などの学校行事に燃えたりしない一見活気のないクラスですが、何事も無難にこなすクラスです。自分は、そんな5組の無難なところが5組の特色であり、良いところだと思います。自分はそんな無難な5組が大好きでした。級長として何もできなかった自分を温かく見守ってくれた5組のみんなには感謝しているし、2年間一緒に過ごせたことを誇りに思っています。(中山 銀河)

6組

いつもいつも元気でとても楽しいクラスでした。ドアを開けると、朝昼問わず明るい声が聞こえてきました。授業中は、よく先生に怒られてしまうこともありましたが、みんなで一致団結して2年間を過ごしてきました。度重なる試練を乗り越え、絆が生まれ、友情を深め、そして愛が生まれました。その愛をこのクラスという空間で育めなくなってしまうのはとてもさみしいです。ですが、この愛は永遠なるものです。ありがとう。(藤林 千祥)

7組

濃い仲間がたくさんいました。それに、スポーツが得意な人が集まったクラスでした。グラウンドでのスポーツ大会では2年間連続優勝することができました。クラス全員、一番喜んだ瞬間だと思います。しかし、アリーナのスポーツ大会ではあまり良い成績を残すことができませんでしたが、今では、それもそれで良い思い出です。2年間、実際は1年と11ヵ月本当に楽しい日々でした。毎日、毎日笑いが絶えない7組が大好きです。みんな、ありがとう!!(宮崎 健詞)

8組

8組で過ごした2年間、積み重ねてきたものはとても大きく、そして何よりも深い絆があります。その中でもスポーツ大会や建学祭などの行事では、みんなが一つになり大変な盛り上がりを見せてくれました。

この仲間と過ごした時間は、全てが大切な思い出です。卒業まで残り少ないけれど、最高の思い出ができるよう一日一日を大切に、そして最後まで全力で取り組みながら楽しんでいきたいです。(石橋 拓土)

9組

どんな時でも(授業中でも)決して笑顔が絶えることなく、アットホームな雰囲気の中で行うことができたクラスでした。3年生になると少しは行儀よくなり、皆がより大人らしく成長したと思います。これからもこの高校生活での3年間を忘れずに、成長していけるとと思います。みんな大好きだぞ。キラン。

(富田 隼平)

2010年度学校運営方針

アクティブボードを用いた 組織的な授業改革の推進

教育の質を高める教育改革の一環として本校ではアクティブボードを全教室に導入しています。アクティブボードを利用したインタラクティブな授業が、生徒の意欲と好奇心を育み、可能性を開拓します。

**環境改善とスキルの向上で
新時代の教育システムを実現します。**

**教員が意欲的に取り組むことで
授業や学校全体が進化します。**

**自主的な学習活動を促進し、
発想力や想像力を育みます。**

**本校が目指す「全人教育」の
さらなる広がり可能性を追求します。**

全教科において公開・研究授業を推進し、 『教えるプロ』としての教員の資質向上を目指す

本校では全授業を公開し、2000年度から「生徒・保護者による授業評価アンケート」を実施してきました。保護者や受験生、一般の方々に授業を公開するスタイルに早くから着手してまいりました。これとは別に、本校の教員同士が全教科で授業を見せ合い、授業内容を組織的に研究する事によって、授業スキルを向上させています。

また、2009年度から、全ての教科で公開・研究授業を推進し、同じ教科の教員同士はもちろんのこと、異なる教科の教員からも授業評価を受けられるようにし、『教えるプロ』としての教員の資質向上を目指しています。



SSH活動報告

11月20日、本校で「科学英語」実践報告会ならびに研究協議会が行われました。全国のSSH指定校から多くの先生方が来られ、情報交換を行いました。

「科学英語」の課題

「英語科の教員がどのようにSSH活動に携わるべきか?」これは、学生時代に理科・数学が苦手だった英語科教員全てが悩むテーマです。本校も例外ではなく、英語科が中心となり実施している『科学英語プレゼンテーション』や英語での外部発表の原稿指導などを通して、SSH活動へのかかわり方に常に頭を悩ませています。

協議会の前半では、本校を含め5校の実践報告会と質疑応答が行われ、各校の特色を生かしたSSH活動と英語科の連携手法を聞くことができました。昼食時には、午後の分科会ごとにお昼を食べ、交流を持つことができました。後半では4つの分科会(右下



分科会の様子

の表を参照)に分かれて、日頃、各学校の先生方が悩まれていることを共有し、それらの解決方法を討議しました。なかなか他のSSH校との交流がない私たち英語科にとって、教科の垣根を越え、いろいろな先生方と情報交換ができたことは大きな収穫でした。

今後の課題は、他校から学んだことをストレートに本校のSSH活動に導入することは難しくても、いかに本校流にカスタマイズしていくかです。いよいよ来年度は、第2期SSHのまとめの年です。これまでの4年間を見直し、私たち英語科も精いっぱいSSH活動に協力し、この研究協議会で学んだことを今後のSSH活動に生かしていきたいです。

英語科 高橋 佑未子

分科会で話し合われたテーマ

第1分科会 「教材開発」

通常の授業や特設講座で使用している教材づくりで工夫している点について意見交換をする。また、各学校で使用している教材交換をする。

第2分科会 「交流活動」

国内・国外を対象に行っている(もしくは、現在企画中の)発表会で工夫している点(招待する学校選び・開催方法など)について、意見交換をする。

第3分科会 「論文指導」

実験結果などの発表原稿・論文の主旨を英語で書く場合にどのような指導を行い、その際どのような問題点や工夫(主に理科・数学教員との連携など)をしているかについて意見交換をする。

第4分科会 「カリキュラム開発」

実践報告で報告を受けた実践例を各高校で生かす方法を考え、意見交換をする。

TOKAI キャンパスメッセージ

土木で環境問題!?

皆さんは「土木工学」と聞いて何をイメージしますか? 橋、道路、コンクリート、水道…など、私たちが普段何気なく使っているほぼ全ての公共機関に、土木が関わっています。土木工学とは、私たちの生活を支える交通・通信・水道網などの社会基盤(それらを「インフラ」と呼びます)を設計・創造するための専門知識を学ぶ場所です。

一方、最近よく耳にする「環境問題」、これも土木と係わりが深いことを知っていますか? 例えば、地球温暖化によって海面が上昇した場合、海辺の街をいかに救うか、その防災手段を考え、実行できる技術・知識を持つのは土木工学です。このように土木工学は、自然環境と人間社会とを

つなぐ役割を担っています。

私たちの研究室では、沖縄の海が汚れ、サンゴ礁やマングローブ林が減少する問題に着目し、沖縄県石垣島のマングローブ林で現地調査を行い、自然がどれほど負荷を受けているのか、その詳細を調べています(写真)。

「人の営みが自然環境を破壊する」という意識は広く浸透してきました。これからの時代は、「では、人と自然がいかに共生していくか?」その具体的な技術・案を模索しなければなりません。環境修復・改善、そして人の生活を支える技術を持つ土木工学だからこそできることが山ほどあります。今、日本は水道事業や空港建設など、日本が誇

工学部 土木工学科助教 寺田 一美

る土木技術を海外へ輸出すること(インフラ輸出)に力を入れています。活躍の場はどんどん広がり、それは土木工学科卒業生の就職率の高さにも表れています。皆さんも一緒にチャレンジしてみませんか?



石垣島マングローブ林での調査風景

お知らせ

中等部吹奏楽部 第2回定期演奏会

日時:1月29日(土) 17:30 開場 18:00 開演

場所:浜離宮朝日ホール(築地市場駅出口すぐ) 入場無料

1年間の集大成として部員一同がんばりますので、ぜひ聴きにいらしてください。



希望を星につなげ!

ヨット レーザー4.7クラス全日本選手権大会
準優勝

1年2組 村山 仁美

東京都ジュニア強化選手に認定

中等部3年生の村山航大君が平成22年度の「東京都ジュニア強化選手」に認定されました。村山君は8月に走高跳の選手として関東大会と全国大会に出場しました。今後のさらなる飛躍を期待します。



行事予定

January | 月

February 2月

- 1日(土) 元日
- 6日(木) 新春懇親会
- 7日(金) 朝礼、授業開始、短縮授業
- 8日(土) 東海大学進学相談会(高2)
- 9日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 10日(月) 成人の日
- 15日(土) スポーツ大会(高1、アリーナ)
- 18日(火) 本校推薦願書受付(高校)、校医相談日
- 19日(水) 専門医によるカウンセリング
- 20日(木) 願書受付(中等部 第1回 31日まで、第2回 2月2日まで) 学年集会(中2、高2)
- 22日(土) 本校推薦入試(中1、中2、高校、自宅学習日、中3 推薦入試)
- 23日(日) 英検(中1、中2:全員、中3、高校:希望者) 本校推薦入試合格発表
- 24日(月) 本校推薦入学手続
- 25日(火) 本校一般入試願書受付(高校 31日まで)
- 27日(木) 生徒による授業評価アンケート④(中等部、高1、高2)、学年集会(高3)
- 29日(土) 漢検(希望者)、スポーツ大会(高2)
- 31日(月) 特別講座終了(高3)

- 1日(火) 中等部第1回入試(中高 自宅学習日)
- 2日(水) 中等部第1回入試合格発表
- 3日(木) 中等部第2回入試(中高 自宅学習日)
- 4日(金) 中等部第2回入試合格発表
- 7日(月) 卒業試験(中3、~9日) 基礎力判定テスト(5教科)(高1、2)
- 8日(火) 木曜日の授業
- 10日(木) 高校一般入試 (中1、Tokyo Sightseeing Tour、中2、3、高校 自宅学習日)
- 11日(金) 建国記念の日、一般入試合格発表
- 14日(月) 一般入学手続(平常授業)、答案返却日(中3) 朝礼、短縮授業
- 15日(火) ニュージーランド海外英語研修旅行(中3、~24日) 校医相談日
- 16日(水) 専門医によるカウンセリング
- 20日(日) 英検二次
- 25日(金) 振替休日(中3)、登校日(高3)

編集後記

「暑」が2010年「今年の漢字」に選ばれた。たしかに真冬の今なお、記録的な酷暑の名残は記憶だけにとどまらない。学校の周りでも赤茶けた植え込みが無惨な姿をさらしている。12月にメキシコで開かれたCOP16で、2年後に期限切れとなる「京都議定書」以降の地球温暖化対策が議論されたが、温室効果ガスの削減割当の見直しは先送りされた。最大のネックとなったのは、アメリカと中国の対立だ。両国の排出量は合計で、世界全体の4割以上を占める。先進国と発展途上国の対立を克服し、地球温暖化対策をリードするのは2大排出国の責務といってもよい。地球温暖化に「国境」はない。国際協力体制づくりは待ったなしである。(か)